



ロシアのウクライナ侵攻が始まってから2カ月余りが経過し、TVのニュースでも取り上げる時間が少しずつ減ってきたように感じます。

この混乱による日本への影響はエネルギー資源を中心に色々と物価高を招いています。更にアメリカ(FRB)が、インフレ抑制のため金利の引き上げを加速し、ゼロ金利政策を続ける日本との金利差は大きくなってきています。来年3月に黒田日銀総裁の任期が終わる事で、夏の参議院選挙後の日銀総裁人事により、日本の金利政策に変化が起こるのか?生活に直結しそうな話題です。

## 物価の上昇、感じませんか?



4月の東京の消費者物価指数(CPI)総務省が5月6日発表では、前年同月比で2.5%の物価上昇、2020年と比較しても1.6%の上昇です。

特に生鮮食品とエネルギーの高騰が目立ちますが、現在政府はガソリン1Lあたり25円の補助金を拠出しており、5月からは上限を1Lあたり35円の拠出に変更するようです。このガソリン補助で、消費者物価指数も数ポイントマイナスの影響がある為、実質的なCPIは2.0%あたりと思われます。物価が2%上がるという事は、100万円で購入できていたものが、102万円必要になる。という事なので、お金の価値が下がっているとも言えます。

## 何もしなければ、価値が目減りする預金

現在、10年物の長期国債金利は0.22%、マイナス金利こそ抜け出しましたが、ほぼないに等しい金利です。預けたお金を2倍にするために何%で運用する必要があるか?大まかな目安として「72の法則」があります。「 $72 \div \text{お金が2倍になる期間} \div \text{金利}$ 」と変形できるので、こちらを使えば、現在の金利では100万円が200万円になるのは、327年必要な事になります。物価上昇率が標準的な2.0%と仮定すると、約36年で物価が約2倍になる事を考えれば、資産を預金で寝かせておくことは、決して安心とは言えないのかも知れません。

ちなみにバブル経済崩壊の直前の長期金利は6.625%でしたので10.8年で資産は2倍になっていました。「10年で倍になる時代ですね(笑)」\*ただ、物価も上がっていた事を忘れてはいけません。

現在の円安の状況は、世界的に見て日本の金融政策が際立って低い金利で固定されていることにより、投資マネーがアメリカを中心に日本から逃げている事も影響の一つです。



過去の円安は輸出企業にとって追い風になる側面もありましたが、現在は、国内の主要な企業は海外に生産を移しており、現状では円安がデメリットになると回答する企業が50%を超えており、メリットと応える企業は僅か1%台で、主に機械輸出の企業です。企業業績の回復も遠い中で、個人の資産は、能動的に動いて防衛しないとイケないかも知れませんね。



現在の給料は上がり、物価が上がり企業業績も苦しい状況は「悪いインフレ」と言ってもよく、インフレに強い資産に家計の資金を分散しておくことも、資産の目減りを防ぐ対策として有効です。日本国内だけで成長し続けられる時代は終わったと言え、今後は海外にも目を向けた資産運用が必要になりそうです。

**「何もしない事も、一つの危険(リスク)である」という認識が必要です。**

## メンバー 近況報告

### 雨の中のテニス

岩瀬 英之

先日、新城市テニス協会の試合に出てきました。一日で男子ダブルスとミックスマックスの両方ができるため最近では毎回参加しています。試合の一週間前から雨予報で天気変わることを祈っていましたが、当日朝起きるとやはり小雨でした。予備日もあるため一週間後になるかと思っていましたが、中止は当日会場で決定するとなっていたので雨なのに新城まで行くことになりました。

案の定、コートについたときも傘をささないといけなくらいの雨が降っていました。たまたまコートは水はけがよくて水が浮いてくるまでは開催するというので雨の中の試合になりました。せっかく新城まで行ったので雨の中の試合自体はいいのですが、メガネに水滴がついてしまい前が見えなくなるので辛かったです。結果的にはなんとか男子ダブルスもミックスマックスも決勝戦まではいけましたが、最後の最後で負けてしまい両方準優勝でした。普段なかなか雨の中でのテニスをすることはないのでも、学生の頃に戻った気分でした。六月には瀬戸市のシングルス大会があるので、学生の頃を思い出して練習して今年は優勝したいと思います。



### Withコロナ?ゼロコロナ?

小川 真紀

今年のゴールデンウィークは、コロナ感染が始まってから初めて何も規制の無い連休でしたが、どの様にすごされましたか?私達家族は、天気の良い日は近隣の県へ少し出かけたり、食事へ出かける位と近場での生活でしたので、入国後に待機期間が無くなったことから、ハワイなどへ出国されている方のニュースをうらやましく見ていました。ただ、飛行機の搭乗可否が、帰国する少し前のPCR検査結果で決まるのは、ドキドキしてしまいました。最近では、国の方針によりかなり差が出てきていますね。「Withコロナ」を掲げ経済活動を再開している国、「ゼロコロナ」を掲げている国は、感染者数が増えている町を厳しくロックダウンするなど、国によりさまざまな方針ですね。

日本の感染者数も、前の週と比べると減ってきているものの、まだまだ新規感染者数が高いですが、国は規制を出すのでは無く感染予防をしながら活動する「新しい生活様式」で、経済をまわすよう「Withコロナ」を掲げていますね。「『3つの密』の回避」、「人との接触を8割減らす10のポイント」など「新しい生活様式」の詳しくは、厚生労働省のページに記載されていますので、見て下さい。各自が出来る範囲で実践して、厳しい規制のない楽しい生活が送れるといいですね。



### 潮干狩り

古川 友架

今年のゴールデンウィークは3年ぶりの規制がない連休だったので、3年ぶりに潮干狩りへ行ってきました。規制がなかったので、会場はたくさんの人でいっぱいでしたが、前回よりは比較的少ない印象でした。3年前に来た時は娘はまだ2歳であさりに興味はなく、泥だらけになって、泥遊びをしていました。今年は、「あさり嫌いだからいい」と乗り気ではなかったのですが、だんだんあさが採れるようになると「楽しくなってきた」と一生懸命おもちゃの熊手で掘っては手を入れて採ってくれました。「あったー」とその都度見せてくれるのですが、とても小さかったり、たまに中に砂だけのものもあったりしたので、大きいのをお願いしました(笑)途中から誰がたくさん採れたか競争になり、あまり採れないと途中で「なんでえ」と言っていました、みんなでたくさん採れて楽しかったです♪ヤドカリやカニ、小さな魚、ミミズなどの生き物もいて、海の生き物に触れるいい機会にもなりました。

潮抜きを見るのも最初は怖いと言っていたのですが、「あ、頭出た、こっちも!」と水もかけられたりしながら楽しそうでした。洗うのも手伝ってくれ、おいしくいただきました。娘は食べませんでした(苦笑)潮干狩りは採って見て食べてたくさん楽しめるのでいいですね♪

